

## 平成 25 年度 事業計画報告

当カレッジの事業基盤であり、最大の目標であった「年度制講座」を5学科6教室で開校して、新しいスタートを切ることができました。

しかしながら、社会の変化により、元気なシニアが活動する分野がますます広がっている中で、今年度に与えられた課題はさらに大きなものがあり、各部会において具体的に取り組んで行かなければなりません。

◇ まずは、年度制講座の初年度にあたることから、各教室、各科目の講座運営に万全を期することが最優先です。教室ごとに講師、教室長、教務、アシスタントによる教室会議等を実施して連携を深め、よりよい講座運営を推し進めていきます。

各クラスは、受講生と運営スタッフが一致協力して、仲間づくりや趣味を生かしたアクティブな活動を推進します。加えて、各教室で高齢者大学地区同窓会や地域シルバーアドバイザー（S A）との交流活動を積極的に展開して、「地域密着型」の実践をします。

◇ 併せて、26年度事業運営方針と第2期生「年度制講座」の基本計画を確立して、理事長をリーダーとした「募集委員会」を早い時期から設置し、昨年の活動を多面的に検証すると共に、受講生の声も参考にしながら、より充実した講座編成と効率的な募集活動を進めていきます。

多岐にわたる課題を、機能別の部門チームごとに担当割して、ダイナミックなスピードある活動を推進します。

◇ 教務部は、第1期生の講座運営の円滑な推進と26年度カリキュラムの見直しと充実した編成を行います。2期生の講座編成は募集委員会との連携で行い、開講に向けての総合的な諸準備を進めます。

◇ 事業部は、昨年からの準備活動を進めてきた事業構想の中で、26年度受講生募集に効果的で、カレッジのPR、同時に事業活動を通して人材育成・発掘に繋がるような事業を企画・実施していきます。

◇ 渉外部は、北摂各市町との連携を深め協力体制を一層強力なものにするため、地域同窓会並びにS A地区会の協力をいただきながら活動を進めていきます。

◇ 広報部は、26年度募集要項の編集・ホームページの充実・当カレッジ広報紙の発行とともに、各市町の広報誌への掲載依頼およびミニコミ誌なども視野に、積極的なPR活動を展開していきます。

◇ 事務局体制は、24年度中に概ね整えましたが、25年度は総務、経理部門の分担確立により、何事にも敏速に対応できるよう環境整備を進めていきます。

本格的なNPOの運営が始まるということ認識して、会員はもとより、とりわけ役員が一致団結して何事にも取り組み、大阪府北部での基礎を固めて行きたいと決意しています。